



発行にあたって

はじめまして！NPO法人子どもLAMP（ランプ）です。このたび、ニュースレター『きらきらんぶ』を発行することになりました。この『きらきらんぶ』が、より多くの方々に私達の活動を知っていただくきっかけになれば幸いです。

子どもLAMPは、「日本語以外のことばを母語とする子ども達」に学習支援を行うボランティア団体です。2004年にNPO法人として設立されました。名前の“LAMP”とは、Language Acquisition and Maintenance Project（第二言語習得及び母語保持プロジェクト）のことです。ここでは、ランプの灯のようにあたたかく優しく子ども達の未来を照らし、「子どもたちに明るい未来を！」という願いも込められています。

具体的には、子どもの「母語」と「日本語」を使って「学校の教科」を学ぶことで、「母語の力」「日本語の力」「教科学習に必要な力」の3つの力を互いに伸ばしていくことを目的としています（参考：岡崎1997）。たとえば、来日して間もない、日本語の力が弱い子どもであっても、来日前に培ってきた母語の力を使うことで、学年相応の認知レベルの教科学習ができ、来日前と同じように継続して学習に取り組むことができます。同時にそれに必要な母語の力と日本語の力を育てることもできます。また、LAMPでは学校の先行学習を行うので、子ども達は内容を十分に理解したあと、自信をもって学校の授業に臨むことができます。

子どもLAMPには、設立以来、毎年15名～20名程度の

子ども達が通ってきています。子ども達の母語は、中国語、韓国語、タガログ語、英語、ポルトガル語、と多岐に亘ります。また、現在、30名程度の支援者があり、こちらの背景も多様です。たとえば、中国語母語話者、韓国語母語話者などの母語話者や、学生、主婦、研究者などの立場のメンバーがあり、それぞれが、様々な角度から子ども達の学習に関わっております。

このような日頃の学習支援を支えて下さっているのは、賛助会員の皆様や、保護者の皆様、在籍級の先生方です。皆様のご理解とご協力あつての活動だと受け止めております。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。このニュースレターを通し、私どもの日頃の活動の様子や、子ども達の声が少しでも皆様のもとに届けば幸いです。

さて、今年も残すところあとわずかとなりました。2007年も、子ども達の学習について真摯に向き合っていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。そして、2007年が、皆様にとっても、素晴らしく「きらきら」した一年になりますことをお祈り申し上げます。

佐藤真紀

NPO法人 子どもLAMPへの願い

子どもLAMPがNPO法人として出発してこの秋で3年目に入ります。石の上にも3年といえます。活動が継続できているという事実をとてうれしく思います。大切な時間と労力をLAMPの活動に提供してくださっているお一人お一人に対して感謝の気持ちでいっぱいです。NPOはその活動においてwin win win winを追求するものといわれています。子どもLAMPは子どもの学習支援を目的としています。ですから、子どもたちにとってのwin、そして、支援に当たる私たち会員にとってのwin、さらに子どもたちの家族、学校の先生にとってのwinを目指しています。果たして現実はどうでしょうか。子どもたちは教科・母語・日本語相互育成学習を通してこの日本社会という生態系の中にしっかり根を張ってきているのでしょうか。この問いに



子どもLAMP 定例会議の風景

ついては、これまでの地道な活動を踏まえ「はい」と胸を張って言える気がします。それでは、支援に当たっている私たちにとってはどうでしょうか。あるいは、子どもたちの家族や学校の先生はどうでしょうか。これらの点については、これからの追求が待たれ、その意味では課題といってもいいでしょう。

LAMPの活動への参加を通して、私たちは一人ひとりの子どもがこの社会に根が張れるように応援します。私たちは子どもたちが根を張る土壌ということもできます。根が張りやすい土壌であるためには何が必要なのでしょう。逆に、根が張りやすい土壌となるために務めることで、土壌自体にはどんないいことがあるのでしょうか。

お茶大で日本語教育を学び研究する院生メンバーを中心に子どもLAMPが運営されていることもあり、教科・母語・日本語相互育成学習が子どもにとって如何に意義ある学習が創造できるものであるかという点から、幾つもの実証的な調査や研究が進められてきました。それを踏まえ、これからの課題としては、子どもが根を張る土壌自体を問い返していくことがあがってきているように思います。

まだ抽象的にしか問いを立てることができませんが、LAMPの活動を通して、問いを少しずつ具体化していきたいと願っています。また、NPO法人として財政的基盤をどう築くか、あまりにも大きな問いですが、こうした問いにも果敢に挑戦していきたいと願っています。この活動で会員が生活できる組織に育てていくこと、それではじめて支援する人々にとってのwinが得られます。このように幾つものwinを手に入れる過程そのものが実は充実した、生き生きしたものであり、そうした過程を共に創り出していきたいと思えます。

岡崎眸

平成17年度の事業報告および 会計収支計算書

平成17年度 事業報告書

平成17年4月21日から平成18年3月31日

1 事業の成果

平成17年度は、東京都文京区と豊島区を主な活動場所として事業を展開した。まず、定期的な活動として、外国人児童生徒に対する学習支援を実施した。また、事務局の体制強化、支援者や学習者の拡充、支援者の教育、情報発信やネットワーク化を行なった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従業者の予定人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
学習支援事業	外国人児童生徒を対象とし、多言語による補習を行なった。	毎週1回放課後(実施曜日、時間帯はクラスによる)	東京都文京区・豊島区	20人	文京区・豊島区在住外国人児童生徒10人	6,564
調査研究事業	言語発達上の問題についての調査・研究を行なった。	随時	東京都文京区・豊島区	20人	文京区・豊島区在住外国人児童生徒10人	0
教材開発事業	外国人児童生徒の学習用として、学校指定教科書の翻訳教材、副教材等の作成を行なった。	随時	法人事務所	20人	不特定多数	3,600
支援者教育事業	定例会を開催した。外国人児童生徒の支援に携わる者対象の勉強会や研修会の企画立案をした。	定例会は第1・3火曜日開催	東京都文京区	各回約10名	支援や調査研究に携わる者30人	0
普及啓発事業	ホームページやメーリングリストを通して、活動内容を紹介するとともに、外国人児童生徒の学習支援のための情報を発信した。	随時	法人事務所	2人	不特定多数	28,153

助成金が給付されることになりました!

コミュニティの一員として積極的に社会貢献活動に参加し、様々な面で支援を必要としている人々を応援することを目的に真摯に活動している特定非営利活動法人やボランティア団体の活動に対して・・・という主旨で、助成活動を行っている「オラクル有志の会ボランティア基金」より、30万円の助成金が給付されることになりました。教材の購入や講演会の開催など、大切に、有意義に使わせていただく予定です。

オラクル有志の会ボランティア基金
: <http://charitable-trust.oracle.co.jp/details/summary.html>

平成17年度子どもLAMP会計収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

科目		金額	単位(円)
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入			
会費収入	21,000		
前年から繰越	3,662		
2 事業収入			
普及啓発事業収入	0		
3 補助金等収入			
地方公共団体補助金収入	0		
民間助成金収入	0		
4 寄付金収入	51,134		
5 基本金運用収			
基本金利息収入	0		
当期収入合計		75,796	
収入合計			75,796
II 支出の部			
1 事業費			
学習支援事業	6,564		
調査研究事業	0		
教材開発事業	3,600		
支援者教育事業	0		
情報発信事業	28,153		
2 管理費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
備品費	1,491		
光熱水費	0		
消耗品費	115		
通信運搬費	32,106		
印刷製本費	0		
その他手数料	140		
雑費	2,567		
3 予備費			
	0		
当期支出合計		74,736	
当期収支差額			1,060
次期繰越収支差額			1,060

創作童話

現在支援を受けているえいちゃん。6年生の国語で小説を書こうという「創作ノート」という単元があり、そこで、探偵小説を書こうということになりました。



支援を受けている
えいちゃん



童話仙境旅行会社

えいちゃん

※えいちゃんが描いた
猪猪と胖胖

日本語訳 楊 峻

“童話仙境旅游公司”终于开张啦！！经理是，可开张不到一分钟，马上倒闭！原来，想去童話仙境冒险的人太多啦！，报名的人像橄榄球队员一样冲过来，“轰”的一声把房子撞垮。“童話仙境游公司”损失可大，而且要砸死多少人啊！可是没有，一切都没发生。因为房子的建造人是大名鼎鼎的大灰狼，他造的是充气房子。大灰狼再用气筒一打，童話仙境旅游公司再次屹立。这回人们不再莽撞的冲，而是带着头盔冲了过去！无数只手伸到猪猪与胖胖面前，无数个嘴喷出口水“我要去童話仙境！”“给我记上！”猪猪问“他们为什么不排队？”胖胖思考着说“是大人不在排队，那是因为没人教他们五讲四美三热爱呀！”大灰狼一针见血得说“我想大家不因该让大人掺合进来！”于是，猪猪只好作一张标语牌上面写着“大人与狗不能报名！”大人么怒道“不让大人报名就算了，为何不让狗报名？这分明是种族歧视！”

没有大人，小孩子就好办多了。因为大人一直给他们讲五讲四美三热爱，所以他们就老老实实的排队，伸长了脖子往前面望。“姓名？”胖胖一本正经得问，猪猪在往电脑里记录。“大奇。”

日本語訳

「童話仙境*1 旅行会社がやっと開店しました!!」社長である胖胖君と猪猪ちゃんはそう言いました。しかし、その会社は一分も足たないうちに、すぐに倒産してしまいました。なぜなら、童話仙境で冒険したいと考える人はあまりにも多いからです。入りたがっている人達がアメリカンフットボール選手のようにいっせいに部屋に入り込んできたので、建物は「パン」と大きな音を立てて倒れてしまいました。これで、「童話仙境旅行会社」は大きなダメージを受け、たくさんの死者も出ると思われましたが、問題は全くありませんでした。建物の設計士が有名な狼だったからです。彼はこの建物を空気を入れてふくらませて作ったのです。再び、狼がポンプで空気を入れたので、童話仙境旅行会社は建て直されました。今度はみんなが押し合はせず、ヘルメットをかぶって建物に入って来ました。猪猪ちゃんと胖胖君の前に数え切れないほどの手が出され、多くの人たちはよだれを垂らしながら、「童話仙境に行きたいのです！」「私の名前を登録して！」と口々に言っていました。猪猪ちゃんは「なぜ大人たちは一列に並ばないの？」と聞きました。胖胖君はしばらく考えて、こう言いました。「大人たちが一列に並ばないのは礼儀を教えられていないからです。」狼はずばりと言いました。「大人を入れてはいけません。」こうして、猪猪ちゃんは「大人と犬の申し込みをお断りします」という看板をかけた。ところが、これを読んだ大人たちは怒りました。「申し込みを断るのがいいけど、どうして犬もだめなんですか。これは明らかに差別でしょう。」大人たちがいなくなったので、子どもたちは、順調に申し込みができました。子どもたちは大人たちからのしつけを守っておとなしく列に並んで、首を長くして前を見えています。「お名前は？」胖胖君は真面目な顔で聞いて、猪猪ちゃんが、それを、パソコンに入力します。「大奇(ターチー)です。」とその客は答えました。

(つづく)

*1 仙境：神が住んでいるところ。

LAMP参加者の声

母語の大切さ

今年度から子どもLAMPの活動に参加しているお茶大学部3年の河野と申します。去年、岡崎先生の授業を受けていた際に、この子どもLAMPという団体について知り、参加するようになりました。現在、タガログ語母語話者の女子(中3)に対して、国語の教科支援を行っています。LAMPに参加するまで、大学でも日本語教育に関する授業をいくつか履修しており、その中で先生方が「母語の大切さ」についてお話しくださったのですが、母語が話されている空間で20年以上過ごしてきた私にとって、どこか確信を持ってないものでした。しかし、LAMPで子どもたちと接しているうちにその曖昧な理解が徐々に実感に変化していっているように思えます。また、日本で生活している中では気づかないような発見や素朴な疑問(例えば「日本では制服のスカートは短くしなければならないのか。」など)を子どもたちから改めてされて、私自身が日本文化(特に学校文化)について考えるよい刺激になっています。LAMPに所属してからまだ日は浅いのですが、学校ではない場所だからこそ向き合える空間としてこれからも支援を行っていきたいと思います。

河野あやみ

LAMPの活動に参加してみませんか

LAMPの理念に賛同してくださる方、このLAMPの活動に参加してみませんか？きっと様々ないい刺激を受けることができ、実りの多い活動ができるのではないかと思います。私も、LAMPで活動することで様々なことを感じ、いろいろと考え勉強させていただいた人の一人です。私のような学生だけではなく、社会人の方もこのLAMPでの活動はとてもいい経験になるのではないかと思います。学生でも社会人でも、なんらかのきっかけでこのLAMPの活動に興味を持ってくださった方が、このLAMPで活動することによって様々な刺激や感動を得て、そのことによって、LAMPの活動がますます活発になっていけばいいなと思っています。

永瀬裕里

LAMPで支援されている子どもにインタビュー

- ・インタビューア: 安川香菜・蘇 位静
- ・インタビュー者: ルイちゃん(公立中学に通っている中学3年生の中国の女の子)
- ・去年来日 / 学校のバスケットボール部に所属しており、部活のリーダー的な存在である。
- ・2006年4月から支援開始(支援して半年間)
- ・支援教科: 国語

インタビュー内容

Q: この支援はどうやって知りましたか。
A: 学校の国際教室の先生から紹介されました。
Q: 学校の勉強についていくのは大変ですか。
A: はい。大変ですね。
Q: (国語の授業の場合)何が一番大変ですか。
A: 先生の言っていることがよくわからないところです。
Q: では、支援を受けてみて、どうですか。
A: 支援では、学校で教えられるところをあらかじめ予習という形で、勉強を教えてくれるので、学校の授業がわかりやすくなった。また、授業が楽になった。さらに、母語を使って教えてくれるので、国語の内容がよりわかりやすくなりました。日本語でも教えてくれるので、日本語の勉強にもなりました。
Q: 支援で勉強以外にほかに楽しいことはありますか。
A: 勉強だけではなく、支援してくれるお姉さんたちとおしゃべりするのが楽しいです。例えば、国語の「初恋」を勉強していた時に、お互い恋の話して盛り上がりました。
Q: この支援はほかの人にも薦めますか。
A: はい。薦めます。その理由は、「では、支援を受けてみて、どうですか」と同じです。

平成18年度事業計画書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

1 事業実施の方針

平成18年度は、東京都文京区とその近隣地域を主な活動場所として事業を展開する。まず、定期的な活動として、外国人児童生徒に対する学習支援を実施する。また、前年度の調査研究事業で得られた成果の公表、実施教材の提供を行う。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従業者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(円)
学習支援事業	外国人児童生徒を対象と多言語による補習を行う。	毎週1回放課後(実施曜日、時間帯はクラスによる)	東京都文京区及び近隣地域	30人	文京区近隣在住外国人児童生徒、30人程度	10,000
調査研究事業	言語発達上の問題についての調査・研究を行う。	随時	東京都文京区及び近隣地域	20人	文京区近隣在住外国人児童生徒、30人程度	10,000
教材開発事業	外国人児童生徒の学習用として、学校指定教科書の翻訳教材、副教材等の作成を行う。	随時	法人事務所	20人	不特定多数	10,000
支援者教育事業	外国人児童生徒の支援に携わる者を対象に、勉強会や研修会を開催する。	勉強会は毎週、研修会は年に1回	東京都文京区	各回約10名	支援に携わる者20人	10,000
普及啓発事業	ホームページやメーリングリストを通して、活動内容を紹介するとともに、外国人児童生徒の学習支援のための情報を発信する。	随時	法人事務所	2人	不特定多数	10,000

活動報告

■中学校・英語教科書の翻訳

「子どもLAMP」では、06年の春から、中学校の英語の教科書を中国語に翻訳する活動に取り組んでいます。翻訳作業は「子どもLAMP」のメンバーだけで進めるのではなく、メーリングリストやHPを通じて広く呼びかけ、協力者を募りました。どれくらいの人が呼びかけに応じてくれるのか、ドキドキしながらのスタートでしたが、ふたを開けてみれば、英文入力と日本語訳には15名、中国語(簡体字版)の作成には10名、中国語(繁体字版)の作成には25名の方々の協力を得ることができました。現在(06年10月)では、翻訳作業はほぼ完了し、体裁を整えたり校正を行うなど編集作業に入っています。たくさんの方の「温かい思い」のこもったこの本を、一日でも早く子どもたちに届けられるよう、担当者一同、完成を目指して頑張っています。

清田淳子

■2006年度のLAMP支援クラスの状況

今現在、LAMPで支援されている子どもの数は11名で、この子ども達の母語は中国語、韓国語、英語、タガログ語などです。子ども一人に対して1~2名の日本語母語話者と子ども母語話者で支援しており、支援する科目は国語、社会、英語などがあります。

学習者・支援者募集

子どもLAMPでは、日本語を母語としない児童生徒の学習支援を行っており、随時その学習者(支援を受けたい子ども)及び、支援者(支援をしたい方)を募集しております。学習支援が必要な子ども(学習者)のご家族の方や学校関係者の方からのご連絡、お問い合わせをお待ちしております。

子どもLAMP連絡先
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学 日本語教育コース
岡崎研究室 TEL: 03-5978-5213
E-mail: info@kodomo-lamp.org
ホームページ: http://kodomo-lamp.org
発行: NPO法人子どもLAMP
編集: 郭曼恵 デザイン: 金明浩

ここに記載されている記事や写真の無断使用を禁じます。